

大雄地区交流センターに関するアンケート調査

ご協力のお願い



現在、大雄地域では、地域づくりや生涯学習事業に取り組む地区交流センターを、住民の主体的な参画により運営していくことを目指して、住民により構成される地区交流センター準備委員会を中心に検討を進めています。

将来にわたり、住みよい大雄であるために、あなたは大雄地域の地区交流センターにどのような役割を期待しますか？ぜひ、多くのご意見をお聞かせください。

趣旨をご理解の上、アンケートへのご協力をお願いします。

これまでの検討の経過を下記にまとめております。ぜひお読みください。

【アンケート調査について】

- 調査対象…大雄地域にお住いの15歳以上の住民
 - ✧ 配布部数…1世帯に3部ずつ配布しています。お一人1枚ずつご記入ください。
 - ✧ 若い方から年配の方まで、より多くの世代にご意見をいただきたいと考えています。
 - ✧ 調査票が必要な方は、大雄地域局までお問い合わせください。
- アンケートの回答結果については、本調査以外の目的には使用しません。
- 回収期限…**8月12日(水)**までに、同封の返信用封筒に入れてポストにご投函ください。(切手不用)

【調査実施主体・お問い合わせ先】大雄地区交流センター準備委員会・大雄地域局大雄地域課

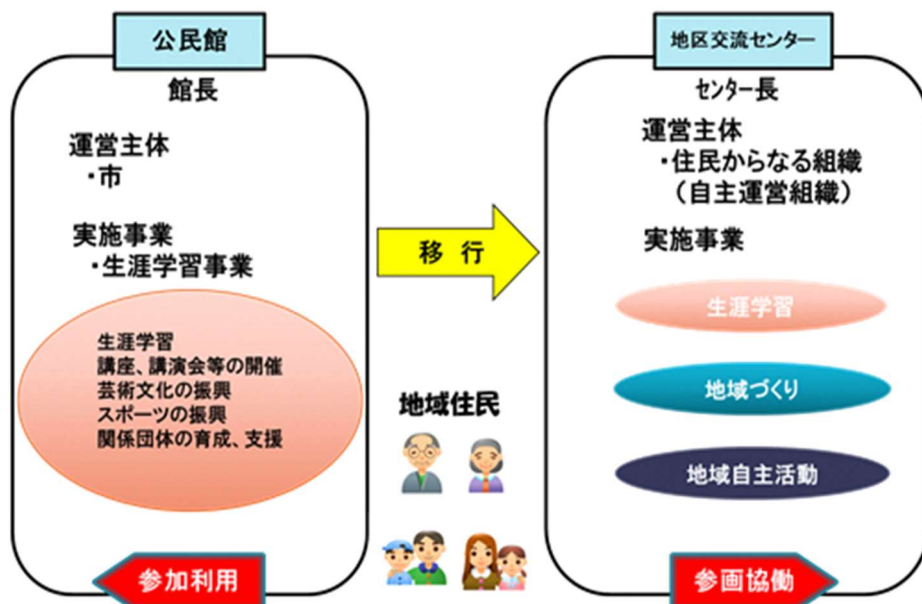
電話：0182-52-2111（内線 8817）

1 地区交流センターのねらい ～公民館から地区交流センターへ～

横手市では、将来にわたり安心して住み続けられる地域の実現を目指し、地域住民が行政と協力して身近な地域課題解決に取り組めるように公民館事業を拡充するとともに、地区交流センター化への移行を進めています。また、この取り組みを地域住民自らが取り組むことを応援しています。

住民自らが地区交流センターの運営や活動を進めることにより、従来の生涯学習事業だけでなく、住民自治活動の維持や活性化につなげるとともに、地域の暮らしの不安に丁寧に寄り添った地域づくりが実現できます。

◆公民館から地区交流センターへのイメージ



2 これまでの検討の経過 ～準備委員会の設置とワークショップの開催～

平成 31 年 1 月に「地区交流センター準備委員会」を立ち上げていこう、6 回にわたる委員会での話し合いと、若い人を中心としたワークショップを開催し、皆さんが期待する地区交流センターの利活用方法や地域の活性化について話し合いました。今後は、さらに具体的に事業計画や運営体制を検討していく予定です。

表 これまでの検討の経緯

日時	話し合った内容
平成 31 年 1 月 24 日 第 1 回準備委員会	➤ 準備委員会の設立 ➤ 地区交流センター事業についての説明
平成 31 年 2 月 19 日 第 2 回準備委員会	➤ 先進事例の紹介 ➤ 集落座談会と支え合いネットのアンケート結果の共有
令和元年 8 月 30 日 第 3 回準備委員会	➤ 今後の進め方について（ワークショップを開催し、若い人も含めて意見を集めることを決めた）
令和元年 11 月 13 日 第 1 回ワークショップ	➤ 大雄の住みよいところ、住みにくいところ ➤ どんな大雄になってほしいか（将来像）
令和元年 12 月 19 日 第 2 回ワークショップ	➤ 地域づくりや地域運営の柱（活動方針） ➤ 地区交流センターに期待される役割・機能
令和 2 年 2 月 18 日 第 4 回準備委員会	➤ ワorkshopで出た意見をもとに、地域にとっての重要度とやってみたいかという基準による事業の絞り込み ➤ 今後の進め方について
令和 2 年 3 月 24 日 第 5 回準備委員会	➤ 地区交流センターのグランドデザインについて
令和 2 年 7 月 2 日 第 6 回準備委員会	➤ 今後の進め方と地区センター事業案について ➤ 住民アンケートの実施について（←本アンケートです）



第 1 回ワークショップの様子



第 2 回ワークショップの様子



第 5 回準備委員会の様子

3 主な意見

【大雄地域の地域づくりのキャッチフレーズ】

「昭和、平成、令和はばたく大雄」 「全世代が交流し賑わいのある大雄」
「人が温かく安全な町」 「欲出せ！大雄人」
「何もないけど住むのはベスト ～セイフティタウン～」



【大雄地域の住みよいところ】

- ✧ 災害が少ない…大きな自然災害が無い、雪は降るけど災害はない、水害少ない、平地で安心
- ✧ 自然に恵まれている…静か、雄物川の桜、空気がうまい、新鮮なものが食べられる、食べものが美味しい
- ✧ 平和…平和な場所、犯罪が少ない、争いが少ない、人間関係も平和、人付き合いがよい、心が温かい
- ✧ 人と人のつながり…人と人との関係が良い、近所との関係が濃密、集落は比較的まとまりがある、人情豊か
- ✧ 道路・自動車…移動が便利、暮らすのに便利、横手や大曲どちらでも20分くらいで行ける、適度な田舎
- ✧ 高齢者…高齢者の集まりがあり楽しく過ごせる、一人暮らしの方への見守り活動
- ✧ まつり…よい祭りがある、サマーフェスティバルで盛り上がる



【大雄地域の住みにくいところ】

- 地域活動の担い手不足…行事の担い手不足、自治会の維持が大変、サマーフェスティバルの運営が厳しい
- 行事のマナー化…芸術文化祭のマナー化と高齢化、スポレクは多くの参加者で盛大になって欲しい
- 農業の後継者がいない、働く場所がない…農家どうなる、働く場所が少ない
- 子どもや若者が減った、いない…若者が減少した、子どもが減った、子供が少なく寂しい
- 限界集落…人口が減った、空き家が多くなり大変、ひとり家族が多くなってきた
- 雪が多い、除雪が大変…雪が多く除雪が大変
- 子どもの遊び場がない…子どもが遊ぶところがない、小さい子が遊ぶ公園がない、屋内で子供を遊ばせる場所がない
- みんなで集まる場がない…カフェ、お茶っこするところがない、若者が集まる場所がない
- 賑わいがない、来訪者が楽しむ場がない…大雄以外から訪れた人が楽しめるものが少ない
- 公共交通が不便、道路状況が悪い…歩道がない、車が無いとどこにも行けない、不便になる、集落間の道路が暗い、交通量が多く横断するのが困難（新町）、交通量が多くて危険



【大雄の目指す将来像とやってみたいこと】

2 回目のワークショップでは、大雄の目指す将来像に対して、やってみたいと思うことを出し合いました。

目指す将来像	やってみたいこと
◆ 元気な子供の声が響くまち 子どもの元気な声が響くまち、出生数増加 地域全体で子供たちを見守り、安全安心に暮らせる	➤ e スポーツ会場（大きなモニター、Wi-Fi 設置など） ➤ 料理教室の開催（こだわりの男の教室、親子の教室） ➤ 子供が集まる場づくり
◆ 帰って来たくなるまち・郷土愛のあるまち 外に出た人に帰って来てもらいたい 若者に戻ってきてほしい 働く場所がいっぱいあったらいいな	
◆ 交流が程よく活発なまち・郷土愛のあるまち 集まれる場、機会があるといい 地区で活発に交流している 大雄が好きと思う人が多い（郷土愛が強い） 大雄といえばこれ！というものがほしい 伝統行事を残したい	➤ バスの送迎付イベントの開催 ➤ ゆとりおんを交流センターにする ➤ ゆとりおん 2 号館の活用 ➤ みんなで東京オリンピックを観戦する ➤ カフェやコーヒーショップの設置、運営 ➤ ジムの設置、運営
◆ コンパクトシティで歩いて暮らせるまち	
◆ 儲かる農業、活気ある農業 田畑を継続して実りの秋の充実 横手市園芸振興拠点センターの活性化 農地保全、荒れ地が無い 後継者を増やして美味しいお米を作ってほしい ◆ のんびり田舎暮らしができるまち 都会ではできないのんびり田舎暮らしができる	➤ 農地と家をセットで貸出、売渡 ➤ 農機具シェア、貸出 ➤ 空き家有効活用 ➤ 道の駅で手作り漬物の販売 ➤ JA 以外でも農地のシェア、仲介を行う ➤ 野菜を使用したレストランの運営 ➤ 地元の素材を使ったスイーツの提案販売 ➤ 野菜の栽培と収穫体験 ➤ 学生や若者の農業研修会・講習会 ➤ 採れた野菜で親子（祖父母）クッキング → 食べる
◆ いつまでも安心して暮らせるまち 近くのまちへの移動が楽になるように 免許返納後でも買い物、用足しの移動に困らない 近所づきあいを大切にする、冬住みやすい 今のように福祉に手厚い地域であってほしい	➤ よこて農業創生大学の見学会 ➤ ミニシアターの開催 ➤ 買い物代行、買い物バス ➤ 共助組織の窓口

これまでの意見をもとに、大雄地域の新しい地区交流センター像を検討しています

みなさんのご意見をお聞かせください